

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	アソシエアカデミープラス都立大		
○保護者評価実施期間	2024年 12月 20日		～ 2025年 1月 20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	28	(回答者数) 24
○従業者評価実施期間	2024年 12月 20日		～ 2025年 1月 20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 21日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別と小集団をセットで1時間半のプログラムを提供している。 ・お子様に合わせた課題設定やカリキュラムの提供を行っている。	記録の振り返りを行い、お子様の課題や強みを把握したうえで楽しく取り組める課題設定を行うようにしている。 年齢や発達段階に合わせて複数のプログラムを用意したり、難易度の調整ができるように準備をしている。職員で児童の共通理解をもっているからこそ、利用児童に合わせた課題提示が柔軟に行えている。	標準化したスケールを作成している。今後、支援プログラムを立案する際に活用できるとより児童に合わせて幅広いプログラムを設定できるようになる。
2	支援室が広いので、体を大きく動かして遊ぶことができる。巧技台やトランポリン、ブランコなどが完備されており、身体面の向上を図ることができる。	広い教室を活かして様々な遊びを提供している。安全面に配慮したうえで、保育園などの集団ではうまく参加できない児童も、小集団で経験を積むことができる。	遊びが固定化しないよう、活動のバリエーションを増やしていく。引き続き情報収集や研修を行う。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・保育園や幼稚園、小学校などの地域との連携 ・ペアレントトレーニングなどの保護者支援	・開所してまだ1年のため、横のつながりがまだ少ない。地域と関わる機会や施設を知ってもらえるような取り組みをしていく必要がある。	系列に保育園があり、近隣の保育園や幼稚園なども多くあるため、施設を知ってもらえるよう、交流する機会を設けていくとよい。 保護者支援（ペアレントトレーニング）に関しては必要に応じて実施できるよう研修に参加していく。
2			
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 アソシエアカデミープラス都立大

公表日 2025年3月12日

利用児童数 2024年12月20日時点 28人 回収数 24

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	23		1		・とても広く子どもがのびのびと活動できている。 ・個別も同じ部屋となっているのが少し気になっている。	個別の療育室の設置を検討します。	
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	21		1	2	子どもひとりひとりに手厚い対応をしている。	引き続き、お子様に丁寧に関わっていきます。	
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	24					療育室内はシンプルで刺激の少ない環境になっています。お子様に合わせて視覚補助を用いて説明するなど配慮をしています。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	24					引き続き、心地よく過ごせる環境を整えて皆様をお迎えします。	
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	23			1	・どの先生も丁寧に熱心に支援している。保護者と違う視点で見てくれてとても勉強になる。 ・自分がどのような特性のある子にどのような支援が適切かわかっていない(ので「わからない」にした)。	今後も職員の高質の向上を図っていきます。	
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	24					引き続き、楽しく通っていただけるようプログラムを工夫していきます。	
	7 こどものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	24					今後もお子様の特性や困りに合わせた支援計画をご提示できるよう、努めていきます。	
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	24				1	子どもの支援や親との会話等を元に丁寧な計画を作成し、説明もわかりやすい。	引き続き、安心してご利用いただけるよう、丁寧な支援計画の作成に努めていきます。
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	24					教材、内容ともに子どもが興味を持つ物ばかりで小学校の授業にもつながるのでとても有り難い。	今後も楽しく通っていただけるようプログラムを工夫していきます。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	23	1				成長に合わせてプログラムを変更するなど工夫している。	今後も楽しく活動できるようプログラムを工夫していきます。
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の子どもと活動する機会がありますか。	9	3	1	10		まだ保育所へ通っていないので機会がない。	園との交流会は実施していません。今後検討していきます。
保 護 者 へ	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧に説明がありましたか。	23			1		契約時にご説明しております。	
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	24					今後も丁寧な説明を心がけます。	
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	14	2	1	8		ペアレントトレーニングは今後導入を検討しています。	
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	23	1				フィードバック時や面談などで情報共有を行うことができています。引き続き、コミュニケーションを大切にしていきます。	
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	22	1		1		毎回フィードバックで親も気づかない成長を教えてくれる。	引き続き、保護者の方とのコミュニケーションを大切にしていきます。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	23	1				時々挨拶をしても返ってこないことがある。	気持ちのいい挨拶、円滑なコミュニケーションを徹底します。

の 説 明 等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	4	4	2	14		現状、保護者同士・兄弟同士の交流会の開催はありません。今後必要に応じて検討していきます。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	20	1	1			引き続き、保護者様とのコミュニケーションを大切にして話しやすい雰囲気づくりをしていきます。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	21	1			職員の退職について特に説明がない。可能な限り廊下の掲示などで教えてくれるのでは？	2025年1月から月に1度、施設のおたよりを発行し、職員の個人情報に抵触しない範囲でお知らせをすることにしました。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	16	1		5		ホームページのブログやGoogleマイビジネスを活用し、情報発信をしています。自己評価の公開は開所後初めてのため、今回から公表し周知します。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	22					研修を実施し、教室全体で取り扱いには十分配慮しています。
非 常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	22					マニュアルは話し合いながら作成しました。定期的に訓練を行っています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	15	1		6		年に2回避難訓練を実施しています。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	21	1				計画の作成、訓練の実施など、取り組んでいます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	18	1		3		かかりつけ医の確認、病院受診のフローなどを連絡していますが、今後再度周知していきます。
満 足 度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	22				・職員が笑顔で楽しい雰囲気を作ってくれるので子ども毎回楽しみにしている ・通うのは大変だが、通うだけ子どもの力になると実感している。	引き続き、安心して通っていただけるよう教室の雰囲気づくりや楽しいカリキュラム設定に努めています。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	20	1		1	・職員が笑顔で楽しい雰囲気を作ってくれるので子ども毎回楽しみにしている ・通うのは大変だが、通うだけ子どもの力になると実感している。 ・行き渋りなく楽しく通所している。	引き続き、楽しく通っていただけるようプログラムを工夫していきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	21	1	1		・職員が笑顔で楽しい雰囲気を作ってくれるので子ども毎回楽しみにしている。通うのは大変だが、通うだけ子どもの力になると実感している。 ・保育園から通所時の様子を教えてほしいと言われて連絡帳に記録している。親から保育園に伝えなくても共有してほしい。そして区の施設と併用できないのが残念。	引き続き、安心して通っていただけるよう職員の質を高めています。園との連携については各園と相談しながら進めています。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		アソシエアカデミープラス都立大				公表日	2025年 3月 12日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5		・周りが気になってしまう児童に対し個別でパーテーションを使用している。今後予算の状況に合わせて増設を検討したい。	引き続き、児童に合わせた適切な環境設定を行っていきます。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5			基準を満たしてはいますが、業務内容や量等を考えるともう1~2人職員がいるともっと仕事効率上がるように思う。という意見がありました。検討していきます。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5			玄関、水道等にイラスト付きで場所の名前を貼りだし、児童の目の高さに合わせて表示をしています。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	1		サービス提供後、職員で教室内の清掃・消毒を行っています。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	2	2		メインの支援室以外はあまり使える場所がないため、今後検討します。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5		出来る限り職員全員が参加・共有できるようにシフトを確認しながら行っている。	引き続き職員間での情報共有を徹底し、よりよい教室運営を行っていきます。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5			今後も保護者の方の意見などを把握する場(送迎時、面談時、評価表など)を活用していきます。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5			引き続き職員間での情報共有を徹底し、よりよい教室運営を行っていきます。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	3	判断に迷ったり、困った時等、家庭支援センター等に相談し適切な援助を仰ぎ、業務改善につなげている。	第三者評価は受けていません。今後検討します。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	1	常に研修の推進、開催をし、職員間での内容共有も行っている。	研修動画を購入したり、毎月の社内研修の実施、職員へ外部研修の案内をしていますが、「制度として研修支援があるのかわかりにくい。」という意見がありました。改善していきます。		
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5			ホームページにて公開しています。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5			個々の利用者のニーズを検討したうえで今後も新たな支援計画を作成していきます。		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		・各職員が意見を出せるよう、担当者会議が丁寧に行われていて良い。 ・担当者会議が適切に行われており、情報の共有も進んで行われている。 ・KID乳幼児発達スケールを導入しています。全児童に拡充していく予定。	引き続き、職員間で意見の出しやすい環境を整え、共通認識を持って支援を行っていきます。		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		・支援計画の内容によっては、どのように支援したら良いか悩む時は職員間での話し合いにより共有、アドバイスをし、計画に合った支援を行う配慮を皆でしている。	引き続き、職員間で話し合いながら利用者様へよい支援が提供できるようにしていきます。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	2	・日々、子どもの状況を確認している。標準化したツールは作成中。 ・KID乳幼児発達スケールを導入しています。全児童へ拡充していく予定。	教室独自の標準スケールは作成が進んでいます。4月から導入可能です。KID乳幼児発達スケールと合わせて活用していきます。		

適切な支援の提供	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5			引き続き、利用者様のニーズや現状に合わせた課題設定を行い、良い支援ができるようにしていきます。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5			毎月の小集団プログラムは職員が集まって会議を行い、決定しています。利用者様に合わせて活動前に話し合って内容を細かく調整しています。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5			職員間での共有や記録の振り返りなどを行い、楽しく通っていただけるよう工夫しています。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	5			引き続き、利用者様のニーズや現状に合わせた課題設定を行い、良い支援ができるようにしていきます。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5			引き続き、情報共有を行いながらチームでよい支援を提供していきます。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	1	夕礼にて毎日実施している。	夕礼で各々が発言する機会を設け、支援のことや保護者様からお話しいただいたことなどを共有しています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5			支援記録は丁寧に記載しています。記録を振り返り、次の支援に活かしたり、課題設定の見直しにも活用しています。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5			定期的に見直しを行っています。面談時はゆくりとお話する時間を設け、保護者様の意見を反映させた支援計画となるよう努めています。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3	2	会議の開催がまだない	まだ開催されたことがありません。普段から児童理解を深め、すぐに参加できるよう準備に努めます。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	1	・努力目標として対応中。 ・保育園、幼稚園とは関係機関連携加算で連携したケースが複数あり。	医療機関や地域の保険に関して今後交流をもっていきたいと思います。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	1	送迎の際などに情報交換を行っている。 常に園との連携を行い、子どもの為にどのような形、支援がベストであるか情報共有している。	引き続き、関係機関と連携しながら支援にあたっていきます。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3	2	・施設がスタートしたばかりなのでまだ対応したケースがない。 ・2月開所で就学移行は初めて。話がないため開催していない。	今後必要に応じて小学校との連携を行っていきます。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	3	1	不明 わからない	今後検討していきます。
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	1	4		現状、園との交流会などの開催はありません。今後必要に応じて検討していきます。	

	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	5			支援の後のフィードバックでは15分の時間を設けてゆっくりお話しています。送迎で毎週お会いできない保護者様とは月末に面談をしています。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	3		ペアレントトレーニングについては導入を検討中です。
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5			契約時にご説明をしています。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5			アセスメントを取る際にご意向の確認をしています。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5			丁寧に説明することを心がけています。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5			フィードバック時にお話を聞かせていただいたり、面談でゆっくりお話を伺うなどしております。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3	2		現状、保護者同士・兄弟同士の交流会の開催はありません。今後必要に応じて検討していきます。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		体制はある。	引き続き、保護者様とのコミュニケーションを大切にして話しやすい雰囲気づくりをしていきます。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5		・意欲的に実施している。 ・ブログや情報発信サイトに力を入れている。	引き続き、教室の様子が伝わりやすい情報発信を行っていきます。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5		研修を実施した。	研修を実施し、教室全体で取り扱いには十分配慮しています。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5			引き続き、ご家庭に合わせた配慮や関わりを行っていきます。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	4	・機会がない。 ・開所したばかりで地元民との交流イベント等ははまだない。	今後、開催を検討していきます。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5			マニュアルは話し合いながら作成しました。定期的に訓練を行っています。
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5		全職員、全利用者が参加している。	年に2回避難訓練を実施しています。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5			フェイスシートで確認をしています。モニタリング時にも都度確認をしています。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3	1	食事提供がないため。	食事提供をしていないため、実際に対応したケースはありませんが、有事の際に対応できるように研修していきます。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5			計画の作成、訓練の実施など、取り組んでいます。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5			引き続き、取組内容について周知し、ご理解を得られるよう努めています。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5			支援後の夕礼で共有しています。再発防止にむけて話し合いをしています。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		・研修を実施し、保護者に内容を周知した。	研修を実施し、対応方法について確認しました。

53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5	同意書を取っている。 個別支援計画に記載あり	同意書を基に説明し、個別支援計画にも記載しています。
----	--	---	---------------------------	----------------------------